

1. 件名：特定原子力施設監視・評価検討会（第96回）に係る面談
2. 日時：令和3年12月6日（月）13時10分～14時40分
3. 場所：原子力規制庁18階会議室
4. 出席者

原子力規制庁

長官官房

金子緊急事態対策監

原子力規制部 東京電力福島第一原子力発電所事故対策室

竹内室長、澁谷企画調査官、正岡管理官補佐、石井係長、久川係員、塩唐松係員、  
林技術参与

福島第一原子力規制事務所（テレビ会議システムによる出席）

小林所長

東京電力ホールディングス株式会社 福島第一廃炉推進カンパニー

プロジェクトマネジメント室 5名（テレビ会議システムによる出席）

福島第一原子力発電所 3名（テレビ会議システムによる出席）

#### 5. 要旨

○原子力規制庁は、東京電力ホールディングス株式会社（以下「東京電力」という。）から、次回（第96回）特定原子力施設監視・評価検討会（以下「検討会」という。）の議題に関し、資料に基づき以下の説明を受けた。

- HIC 移替え作業の対応について
- 東京電力福島第一原子力発電所の中長期的リスクの低減目標マップの進捗状況について

○原子力規制庁は上記内容を確認するとともに、以下のとおりコメントを行った。

#### 【HIC 移替え作業の対応について】

- 代替フィルタ 1 台目の出口濃度を測定する連続ダストモニタについて、SEDS 側から送られる空気の流量が少ない一方で連続ダストモニタ側から引く空気の流量が大きい場合、代替フィルタ 2 台目側の空気が逆流してしまう恐れがあるため、当該連続ダストモニタの測定値を評価するにあたっては SEDS エアベントラインにおける流量バランスについても考慮すること。
- 低線量 HIC2 基目の内部調査については、低線量 HIC1 基目と比べて取扱うスラリーの放射能濃度が 2 桁近く高いことから、まずは低線量 HIC2 基目の移替え作業時における線量データ等を踏まえて、内部調査作業に係る追加の安全対策等を検討し、その検討結果を前もって説明すること。
- 低線量 HIC2 基目の移替え作業後に実施するフィルタの汚染状況調査に関する工程についてスケジュールに追記すること。また、高線量 HIC 移替え作業に向けた遠隔操作等の抜本的な対策の検討状況についてもスケジュールに追記すること。

- スラリー移替え作業時に用いる代替フィルタの耐久性や吸湿性などのスペックの詳細を示した上で、本作業においても引き続き使用することとした妥当性について説明すること。

【東京電力福島第一原子力発電所の中長期的リスクの低減目標マップの進捗状況について】

- リスクマップの各項目について、現状と目標、目標を達成するための課題、その課題の解決に向けた対応やその方針等について追記すること。
- 廃炉工程を今後さらに進めていくにあたり、将来的な方針を決めていくこと。

○東京電力からは、上記コメントを反映して検討会の資料を作成する旨回答があった。

## 6. 資料

- 低線量 HIC2 基目移替え作業時の対応（案）
- 『東京電力福島第一原子力発電所の中長期的リスクの低減目標マップ(2021年3月版)』の進捗状況について（案）
- 1F 中長期的リスクの低減目標マップを踏まえた検討指示事項に対する工程表（案）